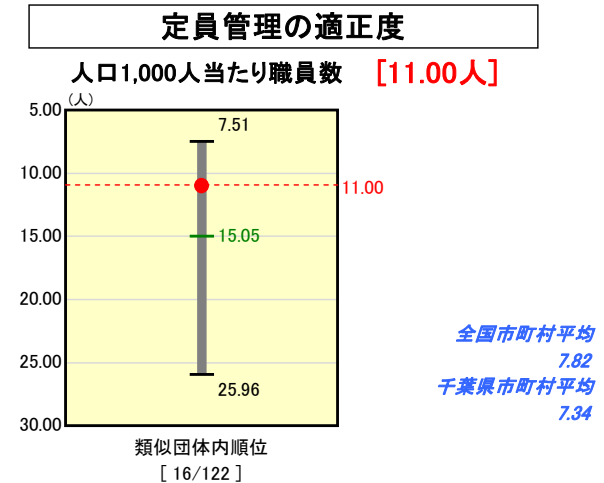
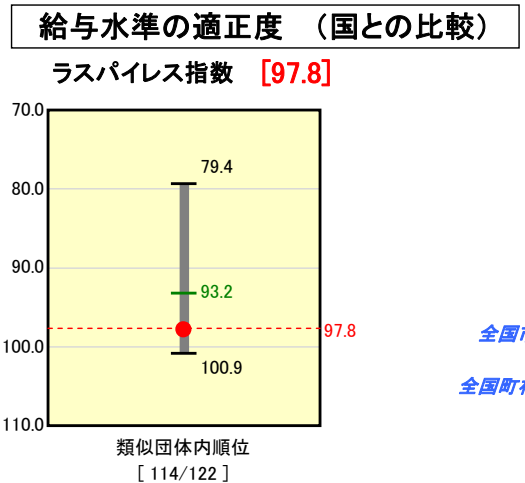
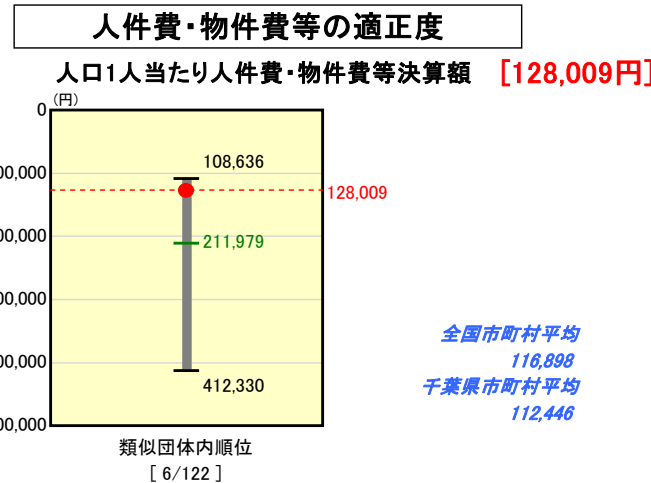
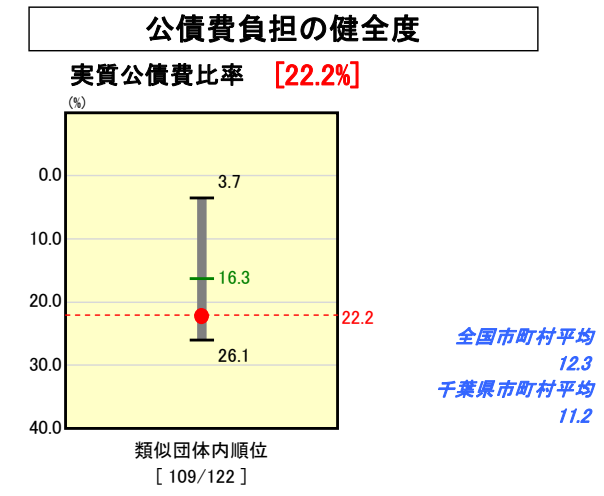
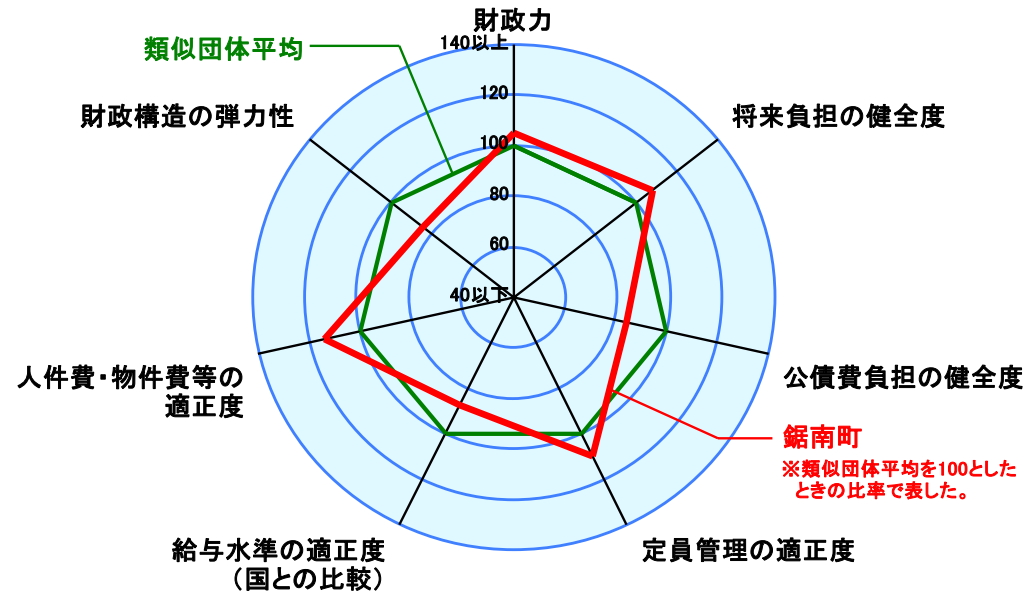
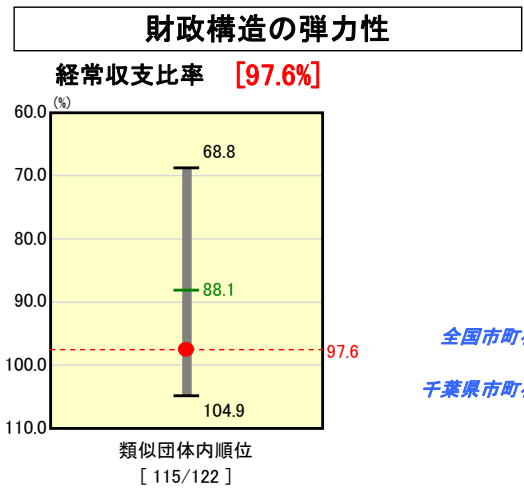
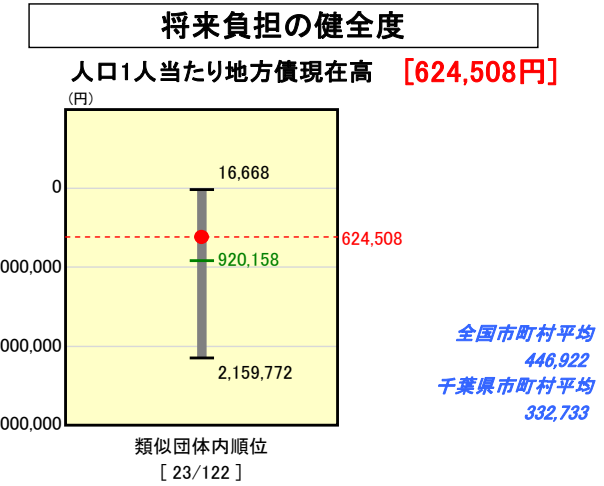
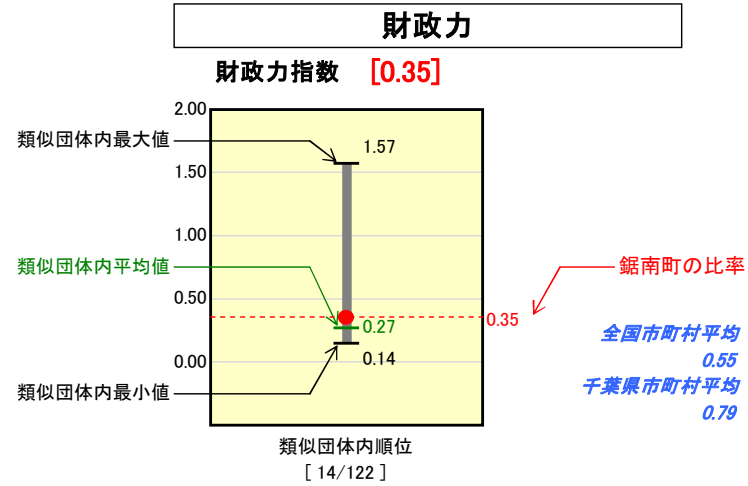


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 千葉県 鋸南町

人口	9,633 人(H20.3.31現在)
面積	45.16 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,983,007 千円
歳出総額	3,846,769 千円
実質収支	43,520 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成19年度末35.4%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く全国市町村平均を下回っている。施設の統合(保育所2施設から1施設・幼稚園2園から1園・小学校3校を2校へ統合)、給食センター調理・配送業務の民間委託、老人デイサービス事業の指定管理委託等による歳出の徹底的な見直しと未利用町有地の売却による歳入の確保を図り、鋸南町総合計画に沿った施策の重点化の両立に努め、活力ある町づくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

**経常収支比率**  
扶助費及び公債費の増加により類似団体平均を上回っている。一部事務組合への負担金の増や公債費の増額が見込まれているが、職員の給与削減や新規採用の抑制による人件費の抑制を行って、経常収支比率の低減に努める。

**ラスパイルズ指数**  
年功的な給料体系となっており類似団体の平均を上回っている。平成18年度から実施している職員給与カット(管理職4%、一般職3%)等により給与の適正化に努めていく。

**実質公債費比率**  
統合中学校の建設や水道事業に係る起債の償還が続いていることにより、類似団体の平均を大きく上回っている。投資的事業に係る新規発行債を抑制してきたが、臨時財政対策債、減税補てん債の発行により公債費が増加傾向にある。今後新規地方債の発行を元金償還額以下に抑制し、実質公債費比率の低減に努めていく。

**人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体の平均を下回っているが、全国市町村平均との比較では1.4倍となっている。主な要因としては、平成5年度から6年度にかけて実施した統合中学校建設事業(総事業費50億円、うち起債34億円)等である。引き続き、新規地方債の発行を元金償還額以下に抑制し、地方債現在高の低減に努める。

**人口1,000人当たり職員数**  
類似団体の平均を下回っているが、全国平均との比較では上回っている。民間委託の推進を行うとともに、集中改革プランによる退職者4名に対し1名を新規採用することにより、平成17年度から5年間(平成21年度まで)で22名の削減を目標とし適切な定員管理に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体の平均を大幅に下回っているが、全国平均との比較では上回っている。今後、民間でも実施可能な部分については指定管理者制度の導入などの委託化や教育関係施設等の統合を進め、人件費の抑制やコストの低減を図っていく方針である。